

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		市民スポーツ大会開催事業（スポーツライフ推進事業）						予算事業名		市民スポーツ大会開催事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
			10	06	01	2004	経常経費						
総合計画体系	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり（教育・文							事業の区分	主要事業				
	4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進（スポ								重点事業				
	①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実							担当課係等	スポーツ振興課				
2各種大会の開催							スポーツ振興係						
事業期間		継続（平成 5年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
イベントの開催等により、市民相互の交流の機会を提供するとともに、心身の健全育成、生涯スポーツの振興・発展を図り、成人週1スポーツの向上を目指す。							生涯スポーツの振興・発展のため開催している。県内でも多くの自治体でマラソン大会等が開催されている。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・結城シルクカップロードレース大会は実行委員会方式で運営しているため補助金として交付 ・市民スポーツレクリエーション祭は、スポーツ推進委員や運動普及委員等多くのスポーツ団体等の協力を得て開催							・市内外愛好者等 ・スポーツに関心のある市民等（見るスポーツ：観戦，支えるスポーツ：ボランティア）						
							【事業をとりまく環境の変化】 県内でも多くの市町村でマラソン大会が開催され、飽和状態となっている。いかに独自性をだし、参加者を確保していくか検討しなければならない。 市スポーツ推進計画のなかで、大会の方向性（規模拡大、現状維持など）について明確化する。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
・結城シルクカップロードレース大会への補助 ・市民スポーツレクリエーション祭の開催				・結城シルクカップロードレース大会への補助 ・市民スポーツレクリエーション祭の開催				・結城シルクカップロードレース大会への補助 ・市民スポーツレクリエーション祭の開催					

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	3,912	3,978			
歳入計（千円）		3,912	3,978			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	08 報償費	93	94			
	11 需用費	175	183			
	14 使用料及び賃借料	44	101			
	19 負担金補助及び交付金	3,600	3,600			
歳出計（千円）（A）		3,912	3,978			
伸び率（％）			1.68			
備考	総合計画 123ページ 予算書 180ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	シルクカップロードレース大会実行委員会の開催	回	目標	5.00	5.00	5.00
			実績	5.00	0.00	0.00
	スポーツレクリエーション祭実行委員会の開催	回	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	シルクカップロードレース大会エントリー者数	人	目標	3,600.00	3,600.00	3,600.00
			実績	3,689.00	0.00	0.00
	スポーツレクリエーション祭参加者数	人	目標	600.00	650.00	650.00
			実績	634.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	マラソン大会は近隣市町村を含め、多くの市町村で開催されているが、市民の中には毎年参加し、楽しみにしている方も存在する。また、沿道での応援を楽しむ市民や自治会がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	実行委員会の運営であり、問題はない。
	手段の妥当性	A 妥当である	多くの市町村で実施されており、一般的である。実行委員会により多くの市民の協力を得ながら市職員の動員を図り、理想的なコラボレーションにより大会運営がスムーズに行えている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	参加料により受益者負担の原則に基づいているので補助金額は妥当である。人員効率については、実行委員会の部門別に担当者1人を配置し、効率的に進められた。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	オープン参加であるため公平性に問題はない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	シルクカップ及びスポレク祭とも増加の傾向にあり、また参加者及びボランティアスタッフの満足度はアップしているので成果の向上は図られている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	シルクカップは概ね計画どおり実施されているが、スポレク祭は参加者の増加を図るとともに、成人週1スポーツ人口の増加を図る必要がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
・シルクカップロードレース大会は概ね計画どおり開催されており、今後も参加者及び応援者も楽しめる大会となるよう実行委員会で改善検討しながら実施する。 ・スポーツレクリエーション祭は、一層集客できる内容とするため実行委員会で協議する必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
今後もより一層充実した魅力ある大会・祭となるよう実行委員会で検討し、改善する。 シルクカップロードレース大会において大会を円滑に運営するため、専門部会毎に担当を割り振り、各部会毎の充実を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 日ごろ、あまりスポーツをする機会の少ない人や高齢者が、スポーツを始めるきっかけ作りができるよう、市とスポーツ団体や地域が連携・協働しながら、市民のライフステージに応じたスポーツ環境の整備を進める。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。